

令和元年度 一般会計補正予算 新型コロナウイルス緊急対策

新型コロナウイルス対策関係で936万円を増額しました。

歳入

国庫支出金	400万
子ども・子育て支援交付金	
財政調整基金繰入金（町負担）	536万

歳出

民生費	400万
小学校の休校に伴う、学童保育の受入時間増によるもの	
衛生費	338万
消耗品（マスク、消毒液、防護服などの購入）	214万
委託料（施設消毒費）	101万
備品購入費（消毒液噴霧器）	23万
教育費	198万
消耗品（各学校・文化センターなどのマスク、消毒液の購入）	



3月3日から町の6カ所の学童で休校対応を行った

質疑

問 仕事ができない、商売をしても収入が得られない人が出る。町の経済対策の考えは。

答 商工会と協議。小規模事業者や個人事業者が必要とする支援策を検討。

問 自治体によっては貸付事業を開始。生活苦の発生は事実。早急な対策が必要では。

答 状況を踏まえながら、商工会・社会福祉協議会と協議。

問 町にはマスクがなくて困っている人が、たくさんいる。町民向けのマスクは検討しているのか。

答 町で必要枚数が確保できれば、施設や町民への配布も検討。

問 休校により実施できなかった授業への対応は。

答 大変大きな問題と捉えている。再開となれば、履修出来なかった部分について、どこを重点的にするのか配慮し進める。夏休みについては今後検討。

問 学童保育へのマスク・消毒液の支援は。

答 町の備品から支給。児童用は在庫わずかです。今回の補正予算で、今回の補正予算の可決で発注し納品され次第支給。

問 学童に400万円計上したが利用料の無料・減額についての考えは。

答 検討したい。

問 防疫対策を早急に取る必要があるが、現在の対応状況は。

答 状況変化に対応すべく、その都度対策本部会議を開き情報共有。正確な情報入手し地域に伝えていく。必要物資の調達は、今回の補正での計上と、現在の予算内での発注と両方で進める。

問 町民は不安がっている。町ホームページで、現在していること、これからしていくこと、町長のメッセージを載せるべき。

答 早速取り組みたい。

問 相談窓口を簡単に分かるようにしてほしい。

答 今後の状況により改めて協議。

人権擁護委員候補者に

福田さん



福田由美さん
(漆原)

人権擁護委員に福田由美さん(漆原・45歳)を推薦する町長の諮問に対し、議

人は全会一致で適任と認め答申しました。人権擁護委員は、人権相談や人権思想の啓発活動などを行います。任期は3年です。

新農業委員8人

農業委員に次の8人を選任することに、議会は全会一致で同意しました。

渡邊利平さん(小倉・67歳)、森田茂さん(北下・58歳)、萩原隆夫さん(北下・69歳)、小材美恵子さん(大久保・70歳)、志塚淳さん(大久保・35歳)、永田雅信さん(大久保・62歳)、石倉一也さん(漆原・50歳)。

農業委員は、農地の賃借・売買の許可、決定などおよび農地転用許可への意見や農地利用最適化推進指針などの作成を行います。任期は3年です。

栗田美鳥さん(漆原・62歳)、栗田美鳥さん(漆原・62歳)、栗田美鳥さん(漆原・62歳)。

委員会発議

件名	提出者	結果
議会委員会条例の一部改正 …役場組織機構改革に伴う委員会の所管事務の変更など	議会運営委員会 委員長 平形 薫	全会一致 可決

令和元年度 各会計別補正予算の状況

(万円未満は四捨五入)

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計	▲7138万円	81億2093万円	
特別会計	学校給食事業	▲245万円	1億1967万円
	公共下水道事業	▲2704万円	4億7053万円
	国民健康保険事業	9355万円	19億3018万円
	農業集落排水事業	▲786万円	1億7939万円
	住宅新築資金等貸付事業	12万円	298万円
	介護保険事業	▲8114万円	14億755万円
	後期高齢者医療事業	87万円	2億547万円
企業会計	水道事業		
	収益的収入	▲14万円	4億2723万円
	収益的支出	273万円	4億1383万円
	資本的収入	▲5784万円	7502万円
	資本的支出	▲5782万円	2億688万円